

フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州

Regione Friuli Venezia Giulia

www.turismofvg.it

州都：トリエステ Trieste

【州概要】

北部イタリア最東端の州で、様々な民族の侵入を受けてきたため、各時代にわたる文化遺産が残っています。州都トリエステの他、モザイクが床を覆う聖堂と古代ローマ遺跡が世界遺産に登録されたアクイレイア Aquileia、優美な広場がある古都ウーディネ Udine、星型の城塞都市パルマノーヴァ Palmanova、そしてラグーナ(潟)にあるビーチリゾートのグラード Grado 等にもぜひ足をのばしたいもの。チヴィダーレ・デル・フリウリは、世界遺産にも登録されたロンゴバルド時代の「テンピエット」が有名です。

州の食では「トカイ」などのワインの他、フリウリ版シエナと言われる「サン・ダニエーレの生ハム」が世界中で注目されています。



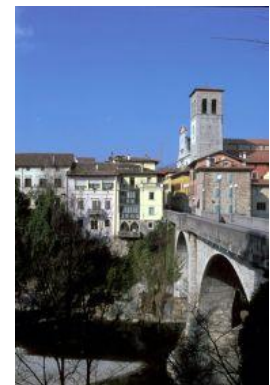
▲ウーディネの街



▲リゾート地グラード



サン・ダニエーレの生ハム▲



▲チヴィダーレ・デル・フリウリ▲

またモザイク学校で世界的に有名なスピリンベルゴ、ミイラが保存されているサン・ミケーレ教会のある中世の街ヴェンゾーネ。中世の雰囲気を残す場所としてその他、セスト・アル・レゲーナ、ヴァルヴァソネがあり、マニアーゴはナイフの伝統工芸で有名。ヴェネツィアの影響を受けた街にはムッジャと総督の住居を有したコドロイーポの他、1500年代の建物を中心に残し「ヴェネツィア共和国の庭」と呼ばれたサチーレなど、数々の魅力を持つ場所が州内には散りばめられています。

詳細情報は、以下サイトより。

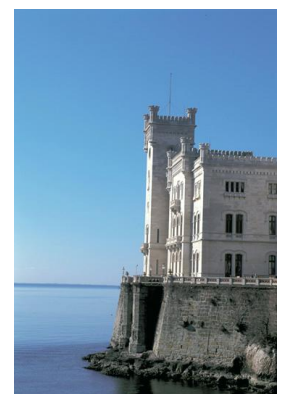
www.turismofvg.it/rnode/13320?sNodeFragFilter=16692

サイトでは観光ポイントだけではなく、各地の宿泊施設も確認できます。

トリエステ Trieste ヴェネツィアの東 158km

イタリア東の国境に近い州都トリエステ(人口 25 万人)はオーストリアの影響を受けたネオクラシックの建物が目をひき、海・丘・坂の景観が大変美しい港街。

歴史も古く、古代ローマ時代の遺跡も残っています。海沿いのウニタ・ディタリア(イ



タリア統一) 広場には、かつての街の繁栄を思わせるリバティ様式の堂々とした建物や、コーヒーの街トリエステを象徴する優雅なカフェが軒を並べ、海沿いは絶好の散歩道となっています。政庁舎北側にはネオクラシック様式のヴェルディ劇場もあります。長い階段を登ると市街地を一望できるサン・ジュストの丘へ。サン・ジュスト聖堂や城、市立博物館があります。また、トリエステそばの海岸にそびえる白亜のミラマーレ城(写真▲)も必見。



▲優雅なウニタ・ディタリア広場

フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州の各地観光オフィスは、メールアドレスを公開。問合せの他、フェイスブックサイトも設けており、オンライン情報を入手することができます。

www.turismofvg.it/Information-about/Tourist-offices

【フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州の世界遺産】

● アクイレイアの遺跡地域と総主教聖堂バジリカ

Zona Archeologica e Basilica Patriarcale di Aquileia

所在地： アクイレイア (最寄駅：Cervignano del Friuli 街から8km) トリエステの西45km。

登録年： 1998



アクイレイアはローマ帝政初期には大司教座も置かれ、ローマ帝国第四の豊かな商業都市でしたが、5世紀にフン族のアッティラにより都市は破壊された。遺跡の多くは未発掘のまま地下に眠っています。総主教聖堂バジリカの床下から発見された床一面を覆う4世紀のモザイクは壮観そのもので、アクイレイアが東方・中央ヨーロッパへの中継地として、キリスト教伝導という

宗教的にも重要な役割を担っていたことがわかります。

ユネスコサイト:<http://whc.unesco.org/en/list/825>

● イタリアのロンゴバルド族：権威の軌跡(568~774年)

I Longobardi in Italia I luoghi del potere (568-774 dC)

登録年：2011

ロンゴバルド王国(イタリア語の音訳。ランゴバルド王国ともいわれる)は、568年ゲルマン系ロンゴバルド族により建国され6~8世紀にイタリア半島を広く統治し独自の文化を発展させた後、774年カール大帝により滅ぼされました。そのロンゴバルド王国の重要な権勢の足跡を示す7地域の要塞、教会、修道院などの建物が2011年に世界遺産



として登録されました。ロンゴバルド族の建築スタイルは総じて古代から中世ヨーロッパへの変遷を示すもので、古代ローマの伝統、キリスト教的精神性、ビザンチン文化の影響そしてゲルマン系北歐様式を生かしています。

「ロンゴバルドのテンピエット」▲©Comune di Cividale del Friuli

登録されたイタリア各地7グループの文化財・史跡はそれぞれ典型的なロンゴバルド文化の重要な特徴を備えており、イタリア国内でも特に保存状態が良いものとして厳選されたもので、総体として最盛期ロンゴバルド文化の全容を映し出

しています。つまりスカンジナビアから北東ヨーロッパを經由してイタリアに定住した後の、ロンゴバルド族の芸術的・建築的遺産の真髄を、これらの文化財史跡を通して知ることができるのです。

ロンゴバルド族はイタリアに定住すると、古代ローマの伝統様式やキリスト教の精神性、ビザンチン文化の影響などを吸収、同化し自らのゲルマン的価値とを融合させ、7世紀末から8世紀にかけて新しい独自の文化を生み出したのです。

近年の歴史学でも認識されているように、ロンゴバルド族はこうして古代と中世の過渡期の歴史の中で、主要な位置をしめる主役の一人として文化の流れを導きました。その後カール大帝に受け継がれ、古代世界から中世ヨーロッパへの形成に寄与し、その後の千年にわたる西洋史に大きな影響を及ぼしました。

*この登録による文化財はイタリア各地 7 か所にあり、そのうち、フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州ではチヴィダーレ・デル・フリウリの下記箇所が世界遺産に登録されました：

『ロンゴバルドのテンピエット Il Tempietto Longobardo』

『カリスト司教が整備した教会関連施設群

I resti del Complesso Episcopale rinnovato da Callisto』

『国立考古学博物館所蔵ロンゴバルド族副葬品

Museo Archeologico Nazionale, corredi delle necropoli longobarde』

所在地： チヴィダーレ・デル・フリウリ Cividale del Friuli

ウーディネ Udine の東 16km、トリエステ Trieste の北西 65km

ヴェネツィアの北東 144km の西 45km。

ガスタルダガ地区にあるサンタ・マリア・イン・ヴァッレ修道院 Chiesa di Santa Maria in Valle の祈禱堂は、通称「ロンゴバルドのテンピエット」とよばれています。ロンゴバルド王国後期の最も重要な建物のひとつで、女性 6 体の中世では珍しい写實的立体的漆喰彫刻やフレスコ画、大理石の厚板、円柱、モザイク等見事な 8 世紀の内部装飾を見ることができます。また当時のカリスト司教が整備増築した教会や聖堂群や、ロンゴバルド族の墓にあった副葬品も登録されました。

● アルプス山脈周辺の先史時代の杭上家屋群

Siti palafitticoli preistorici dell'arco alpino

登録年： 2011(共同登録)

イタリア他スイス、ドイツ、オーストリア、フランス、スロヴェニアにまたがる共同登録で、登録された全 111 か所のうち、イタリアの遺跡数は北部に点在する 19 か所。紀元前 5000～500 年にかけてアルプス山脈周辺の湖畔・川辺に造られていた杭上住居跡の遺跡は古代の農耕生活や文化を伝えます。イタリア国内で登録された 19 か所の考古学エリアはロンバルディア州、ヴェネト州、ピエモンテ州、フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州、トレンティーノ・アルト・アディジェ州の 5 つの州に点在しています。今回登録された国の中でも、イタリアが一番古く、ヴァレーゼ湖畔の杭上家屋は新石器時代の紀元前 5000 年前に遡ります。その後盛んになったのは青銅器時代の紀元前 2200～1400 年の頃で、ガルダ湖畔では 30 以上の集落が集中していました。またトレンティーノ地方やピエモンテ州の小さな湖、ポー河流域平

野そして、フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州では、山の麓ポルチェネーゴ Polcenigo でも杭上家屋が発見されています。(パル・ディ・リヴェンツァ Palù di Livenza – Santissima、ポルデノーネ県)

ユネスコサイト：<http://whc.unesco.org/en/list/1363>

©Fotografie di R. Magrone / Archivio Museo delle Scienze▲



● ドロミーティ Dolomiti

2009年北イタリアの山群「ドロミーティ Le Dolomiti」が新たにユネスコ世界遺産(自然遺産)に登録されました。(英語表記では The Dolomites 発音はドロマイツ、日本では長年「ドロミテ」とも呼ばれて親しまれています。) ドロミーティは北イタリアのトレンティーノ・アルト・アディジェ州、ヴェネト州北部を中心としています。一部、フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州まで広がっています。

ユネスコサイト：<http://whc.unesco.org/en/list/1237>

【交通情報他 役立つサイト】

- ・SAF www.saf.ud.it/ (イタリア語のみ)
州内をつなぐバス。
- ・Ferrovia Udine Cividale www.ferrovieudinecividale.it/
ウーディネ～チヴィダーレを走る地域列車。
- ・APT Gorizia www.apgorizia.it/ (イタリア語のみ)
ゴリッツィアを起点に、トリエステ、ウーディネを走るバス会社。
- ・トリエステ・バスターミナル www.autostazionetrieste.it/
イタリア国内だけでなく、ルーマニア、スロヴァキアなど、国際長距離バスの発着拠点。
- ・フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア・カード Friuli Venezia Giulia Card
www.turismofvg.it/FVGCard/FVGCard.aspx?LANG=ing (英語可)
州内ほぼ全ての美術館が無料、ホテル・劇場などでの割引+市内公共交通機関無料がセットになったカード。